

令和3年度 NO. 5

コミュニティ・スクールだより

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

令和4年3月2日

(事務局：国見町教育委員会学校教育課 ☎585-2892)



2月1日(月)開催予定だった第5回CS委員会
&地域学校協働本部推進委員会は、新型コロナウイルス感染症対策
のため書面開催としました。

第5回の内容は、国見学園各校の学校評価と地域学校協働本部
事業のアンケートの結果報告・次年度の方向性です。

学校評価 ～各校の反省から～

国見学園アクティブプラン(運営方針)
の“めざす力”から「本に親しもう」と
「体を使って遊び、運動をしよう」に焦
点をあて、各校の反省を紹介します

【本に親しもう】 毎日の絵本の読み聞かせを楽しみにしている。「絵本大好き
カード」を通して、家庭と家読などの情報共有を図った。

【体を使って遊び、運動をしよう】 年齢や発達に応じた遊びや環境を整え、運動遊び
の充実を図り、体を動かす喜びを感じるさせることができた。



保育所



幼稚園

【本に親しもう】 各担任が降園前に読み聞かせを毎日して習慣化を図った。「ア
クションカード」を活用し、家読を推進してきた。

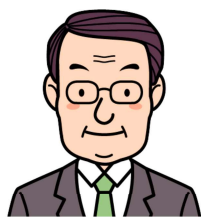
【体を使って遊び、運動をしよう】 晴れた日は外遊びを位置付けてきた。運動会の練習を
通して走る力をつけた。冬場は縄跳び運動を通して体力づくりを行った。

【本に親しもう】 家読や図書館の積極的な活用を工夫し、時間を確保しながら
指導した結果、読書量が増えている児童が増加した。

【体を使って遊び、運動をしよう】 感染症により運動の制限もあったが、多くの児童が
遊びや運動に取り組んだ。



小学校



中学校

【本に親しもう】 朝読、学校司書と連携した図書室整備、委員会活動による読
書の啓蒙、国語授業の図書室利用を実施してきたが、読書習慣の確立に
は結びつかなかった。

【体を使って遊び、運動をしよう】 体育の授業や部活動を中心に運動量を確保するよう
に努めてきたが、体力・運動能力調査で目標値を下回っている学年が多
い。運動部活動への参加意欲が落ちてきている。

地域学校協働本部事業 ～アンケートの結果から～



12月に協働本部の各事業に対するアンケート調査を行いました。ここでは、多くの地域の方々が学校に関わってくださる学校支援活動を取り上げて報告します。なお、パーセンテージは肯定的な評価の割合を表しています。

学校支援活動

学校支援活動は、地域の方がボランティアとして、授業に参加していろいろ教えたり、下校に付き添って子どもの安全を守ったりして学校を支援する活動です。

<関係するアンケートの結果>

- ☆国見小学校児童：地域の方々からいろんなことを学ぶことがある。 ⇒ 83%
- ☆県北中学校生徒： 〃 ⇒ 79%
- ☆保護者：学校支援で子どもが地域の方々と交流するのは良いことだと思う。
⇒ 小学校 100% 中学校 100%
- ☆教職員：地域人材を活用することで教育活動の充実につながっていると思う。
⇒ 小学生 100% 中学生 93%
- ☆ボランティア：ボランティアとして教育活動に参加することが楽しい。 ⇒ 100%

おおむね良好な評価となっています。子どもの感想の中に「国見フィールドワークで、地域の方に阿津賀志山の防塁や古墳など、町の歴史のことをたくさん教えてもらって、国見町がいっそう好きになった。(小学6年)」とありました。地域の方から得られる学びには国見の子どもにとって大切な内容と意味が含まれています。今後も子どもの有意義な学びにつなげる努力をしながら学校支援活動を継続していきたいと思えます。



(書初め指導 中学校)



(桃の実選り体験 小3)



(新1年生下校安全見守りの皆さん)

《「あいさつ運動」と「スマートフォンへの取り組み」について》

コミュニティ・スクール委員会では、子どもたちと地域の方々に「あいさつ運動」を推進する準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大等のため、今年度中の実施は見送り来年度に実施することにしました。また、「あいさつ運動」と同様に準備を進めてきた「スマートフォンへの取り組み」も来年度に行うようにします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

保育所・幼稚園・小学校・中学校の様子は
「国見町教育ポータル」で検索

